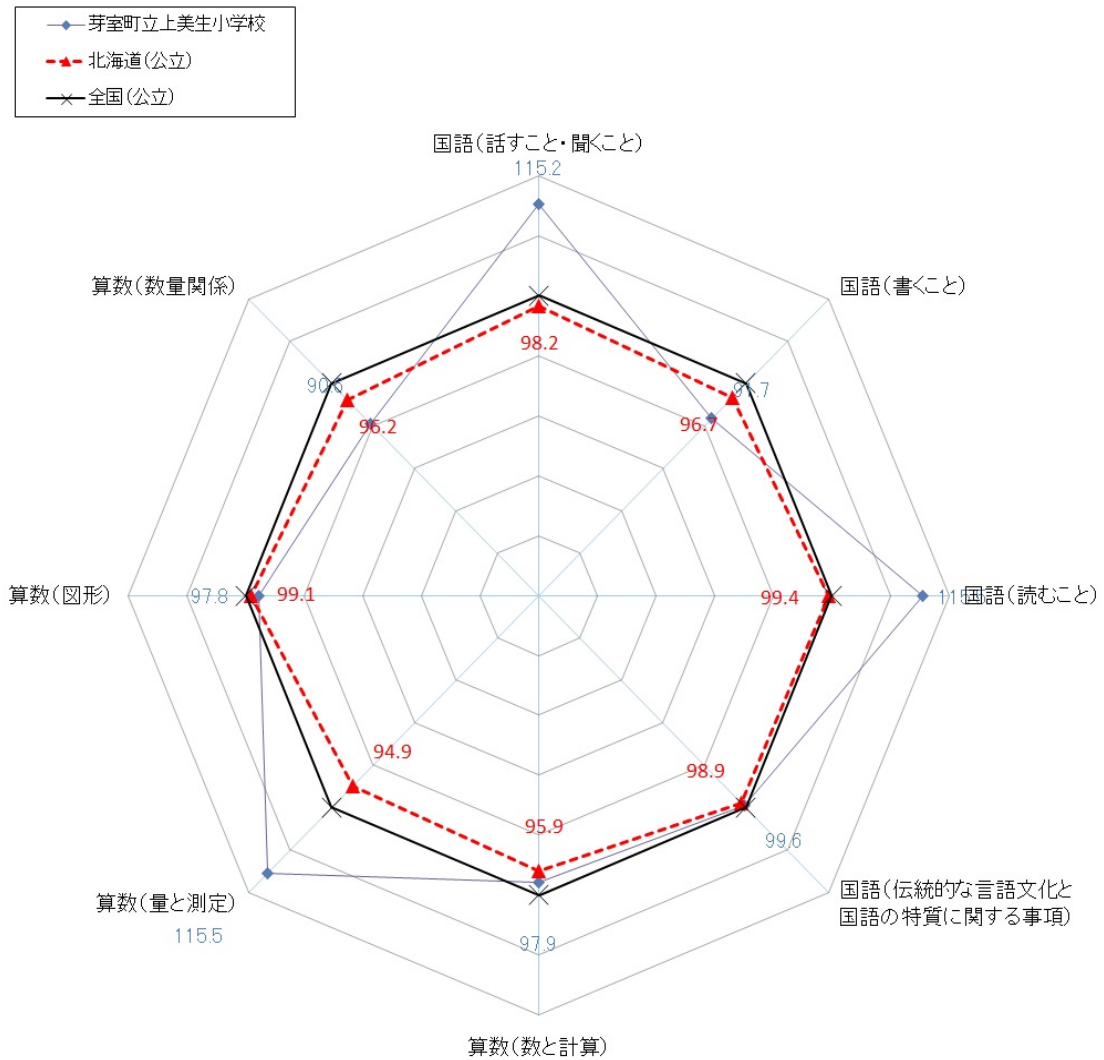




国語について

- 傾向** 「話すこと・聞くこと」に関する問題に対して、全国平均を大きく上回る結果だった。
「読むこと」に関する問題に対して、全国平均を大きく上回る結果だった。
「書くこと」に関する問題に対して、全国平均を下回る結果だった。
「言語事項」に関する問題に対して、全国平均と同じくらいの結果だった。
- 対策** 目的や条件に応じて記述させる機会を増やす。
授業の板書やノート指導を系統性をもたせて指導していく。
誤字・脱字・文末表現・接続語のはたらし・敬語・言語事項の定着や習熟を図る。
基本的な事項と日常の生活とを結びつけて考えていけるようにする。
読書など、文字や文に親しむ活動に継続して取り組む。

算数について

- 傾向** 「量と測定」に関する問題に対して、全国平均を大きく上回る結果だった。
「数と計算」「図形」に関する問題に対して、全国平均と同じくらいの結果だった。
「数量関係」に関する問題に対して、全国平均を下回る結果だった。
- 対策** 数学的な考え方を論理的に記述して答えることに課題がある。
具体的な場面と結び付けて考えることができるような問題提示の工夫をする。
計算や数量関係の理解を深められるよう、宿題や家庭学習との連携を深めていく。
ドリルなどの工夫で、計算問題に意欲的に数多く触れられる機会を設ける。
考えを説明する場面を設け、思考を整理し、表現できるよう言語活動を充実させる。

児童質問紙について

- ICTの効果的な活用について、研修を深めていく。
学校でも家庭でも読書活動が増えるよう連携を強化していく。
意欲は全体的に高いので、きちんとした理解につながるように指導を改善していく。
問題に対してあきらめずいろいろな方法で取り組めるよう指導を強化する。